

令和7年度 第4回 中川小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和8年1月29日(木)13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 中川小学校 3階 多目的室
- 3 出席委員 山岡 照彦、内山 有香、谷口 卓、三原 弘明
植松 善是、室井 咲子、鹿田 将隆、早戸 恵美
伊東 拓郎、谷川 美帆(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 石山 知義(校長)、勝永 昌宏(教頭)、北澤 達也(教務)
堀井 恵理(CSディレクター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 堀井恵理(CSディレクター)
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、早戸委員から鹿田委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 来年度の学校経営方針について

10 会議記録

司会から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、北澤教務から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、5時間目の授業参観の感想と合わせて、委員からは以下の発言があった。

・毎日の授業でのクロームブックの使用頻度はいかがか。(伊東委員)

→浜松市の中では多く活用している学校である。担任が毎日の授業づくりの中にうまくICT活用を取り入れ、児童も使い慣れたことで、ずっとクロームブックを使うより、必要に応じて使うとい

うメリハリができたように感じる。(石山校長)

・学校評価項目⑤「友達や地域の人に自分からあいさつをしている」の結果では、教職員の結果が低い。登下校時、大人の方からあいさつをすれば、きちんとあいさつを返す児童が多かった。学校が求めている「自分からすすんで」の文言がある限り評価は改善しないのでは。(谷口委員)

・「保護者の声」から、口の悪い先生がいることについて。些細な発言でも心が弱い子は傷ついてしまう。先生方には理解してもらいたい。(山岡委員)

・クロームブックの使用できちんと漢字を書けない子が出てくるのではと心配したが、中川小の子たちはしっかり書いて安心した。(三原委員)

・2年生の廊下に掲示されている冬休みの日記から子どもたちのがんばりが伝わってきた。学習発表会の演奏も素晴らしかった。(谷川委員)

・クロームブックの一日の使用時間が分かるスクリーンタイム機能が欲しい。授業以外の休み時間、家庭学習の時間も合わせると、保護者は使用時間が気になってくる。(鹿田委員)

・落ち着いて学習に取り組む姿に1年間の成長を感じた。担任によってクラス的环境整備が整えられていた。学校評価項目⑪「自分の考えを進んで伝えている」⑫「教師や友達の話をしっかり聞いている」の結果では、児童と教員の認識の違いが気になった。クロームブックを用いた学習、ICT指導など、驚くほどのスピードで変化していく時代に葛藤がある。(室井委員)

(2) 来年度の学校経営方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、来年度の学校経営方針について説明があり、委員との間で共通理解ができた。

その他の連絡事項

勝永教頭から、今年度の夢育やらまいか事業について報告があった。

勝永教頭より、来年度の学校運営協議会について、早戸委員が任期を終了される旨の報告があった。

石山校長より、本年度学校運営協議会についてのお礼と、来年度に向けてのあいさつがあった。